

有力FX企業16社の月間データランキング-2017年8月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2017年1月より、調査対象企業が1社減少したため2016年12月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2017年9月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2017年8月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年8月末の有力FX企業15社^{*1}の預かり残高の合計は、8,722億円であった。8月は本調査対象企業15社中13社(その他企業1社含む)で預かり残高が増加し、前月比209億円増(2.46%増)となった。

◆ 企業単体集計の2017年8月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年8月末の有力FX企業16社^{*1}の口座数の合計は、443万口座であった。8月は前月比3.8万口座増(0.88%増)となり、本調査対象企業16社中15社(その他企業2社含む)で口座数が増加した。

◆ 2017年8月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2017年8月の月間取引高は、有力FX企業12社^{*1}の合計で233兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。8月は前月比33.5兆円増(16.79%増)となった。本調査対象企業12社すべてで取引高が増加した。

(*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★ご注意:本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

㈱矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

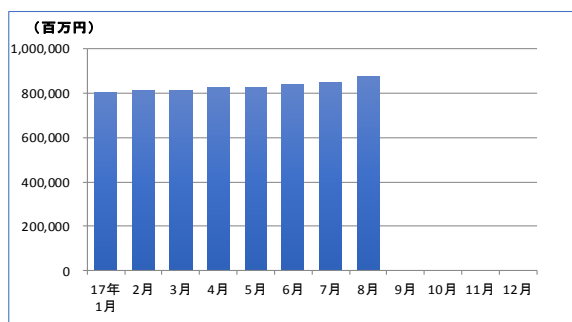
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 預かり残高 】

- 企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,375億円、第2位の外為どっとコムは1,149億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(1,886億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,542億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はGMOクリック証券(4.55%増)、次いでGMOグループ(4.30%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と8月月間ランキング



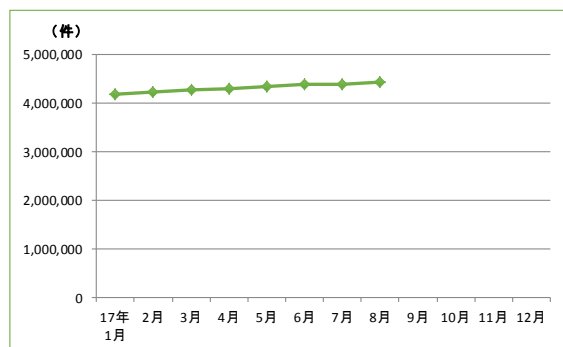
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 口座数 】

- 企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で61.2万口座、第2位のGMOクリック証券は49.7万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(96.8万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(67.2万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はDMM.com証券(1.45%増)、次いでSBIグループ(1.38%増)であった。

図表 2. 口座数推移と8月月間ランキング



口座数順位	社名	2017年7月	2017年8月	増減数	前月比	増加率順位
1	SBIグループ	955,818	968,994	13,176	1.38	2
2	DMM.com証券	603,991	612,760	8,769	1.45	1
3	GMOクリック証券	493,464	497,833	4,369	0.89	4
4	外為どっとコム	450,502	452,633	2,131	0.47	7
5	ワイジェイFX	320,286	321,841	1,555	0.49	6
6	マネーパートナーズ	303,106	304,509	1,403	0.46	8
7	トレーダーズ証券	294,885	297,009	2,124	0.72	5
8	マネックス証券	238,746	239,812	1,066	0.45	9
9	ヒロセ通商	209,123	211,045	1,922	0.92	3
10	FXプライムbyGMO	173,943	174,557	614	0.35	10
11	セントラル短資FX	167,153	167,683	530	0.32	11
12	上田ハロー	53,061	53,056	▲5	▲0.01	
	その他(2社)	133,417	134,292	875	0.66	
	合計	4,397,495	4,436,024	38,529	0.88	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

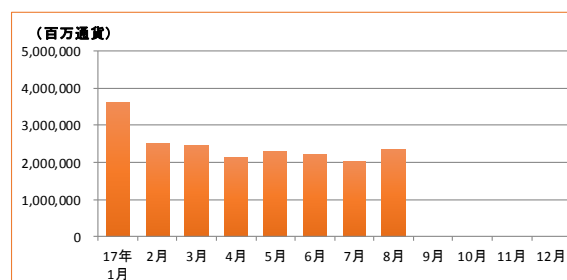
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 取引高 】

- 月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で72.4兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で61.3兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と8月月間ランキング



取引高順位	社名	2017年7月	2017年8月	増減額	前月比	増加率順位
1	GMOクリック証券	598,843	724,056	125,213	20.91	2
2	DMM.com証券	519,042	613,587	94,545	18.22	4
4	ワイジェイFX	219,355	252,398	33,043	15.06	5
3	ヒロセ通商	230,034	249,103	19,069	8.29	7
5	外為どっとコム	190,335	199,102	8,767	4.61	8
6	マネーパートナーズ	88,166	117,248	29,082	32.99	1
7	FXプライムbyGMO	60,188	72,724	12,536	20.83	3
8	マネックス証券	19,622	21,487	1,865	9.50	6
	その他(4社)	74,069	85,726	11,657	15.74	
	合計	1,999,654	2,335,431	335,777	16.79	

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホリトリアルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ